

地域と歩む 地域おこし協力隊

都市部から地域へと移住し、新たな視点や知識で地域の活性化や課題解決に向けて活動する『地域おこし協力隊』。倶知安町では、現在7名の隊員が活動に励んでいます。今月号では、地域で活躍する隊員たちを紹介します。

今年度、3年の任期を終了する2名の隊員を紹介

活動内容

- 住まいのコーディネーター業務
- 住まいの相談窓口の開設、運営（訪問相談含む）
- 出張セミナーの実施
- 住まいの終活に関する呼び掛け など

3年間の振り返り

始めの頃、倶知安を知るために町を歩き、町民の方や不動産業の方などと直接お話しすることで、住まいを取り巻く環境が特殊である地域だと知りました。そこから自身ができることを考え、住まいの相談窓口を開設しました。自宅を訪問し相談をお聞きすることもありました。町民の方は、除雪や住み替え先に関するお悩みが多かった印象です。それでも多くの方は、この町が好きで「住み続けたい」と地元を思う気持ちが強く、その思いに触れ、自身にできることを探し続けた3年間でした。



住宅の売り手と買い手、貸し手と借り手の思いをつなぐ

3年目 / 栗原 由紀子 隊員

今後の生活

札幌市出身で、町へ来る前はシェアハウスの仲介や管理、住宅に関する支援などの仕事をしていました。登山が趣味で、ここ周辺の山はほぼ制覇していて、ニセコアンヌプリの山頂から見る羊蹄山が大好きです。



活動内容

- 地域日本語教育コーディネーター業務
- ・にほんごサロン『にこちゃん』の運営
- ・やさしい日本語の普及（研修や講座の実施）
- ・多文化交流イベントの開催 など

3年間の振り返り

協力隊に着任して直面した課題は、外国籍住民が多いにも関わらず、日本語教育を受けられる機会が少ないということでした。そのため、自身の日本語学校での経験を踏まえ、日本人住民と交流を楽しみながら日本語を学べる『にほんごサロン』『にこちゃん』を周囲と協力し、開設しました。日本語学習に加え、参加者の外国籍住民と日本人住民が顔なじみの関係になったことも、この取り組みの成果だと考えています。参加者が、楽しく参加してくれるので、うれしく思います。

今後の生活

協力隊を卒業とはなりませんが、この先も引き続き、多文化共生のために外国人支援などに関わりながらこの町で暮らしていきます。この3年間、課題解決に向けて取り組みを進めてきましたが、にこちゃんでの活動を通して、多文化共生社会のためには、対話が大切だと感じています。にこちゃんを拠点としたコミュニケーションは、倶知安の大切な地域資源になっていると思います。ぜひこの資源を活用して、地域の取り組みが広がっていったらいいなと思います。



日本語の学べる場を
町民同士が交流を深める場に

3年目 / 佐藤 礼乃 隊員

札幌市出身で、日本語教師としてベトナムでの生活経験があります。移住後は町になじめるか心配でしたが、皆さんはとても温かく、今では中山峠を越えて羊蹄山が見えてくるとほっとした気持ちになります。



協力隊 2年目の私たち

地域の方が健康で過ごせるように

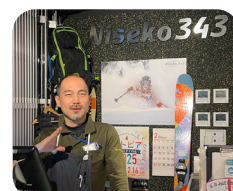
普段は、配属先のHOKKAIDO EVENTSで活動しています。町での起業を目指し、出張整体・トレーニングを行っています。



東 大貴 隊員
(所属：観光商工課)

スキーの町を盛り上げたい

配属先の倶知安商工会議所で活動しています。スキーショップのマネージャーも務めており、この町に住み続けたいです。



兼定 美紀雄 隊員
(所属：観光商工課)

町民の皆さんと共にまちづくりを

在り続けてほしいこの町で、町への愛着を育めるよう、子どもたちを中心に町を好きになるきっかけ作りをしています。



濱崎 順平 隊員
(所属：まちづくり新幹線課)

ご来場をお待ちしています！

1 年間の活動の振り返り・気軽にお話しをする場 報告会 と 地域おこしカフェのお知らせ

■倶知安町地域おこし協力隊活動報告会

地域おこし協力隊が、令和6年度の取り組みや活動を振り返ります。協力隊で企画したイベントや個々の活動で発見した町の魅力や課題など、町民の皆さんに報告します。



○日時 / 3月24日(月) 17時より(1時間30分程度)

○場所 / 役場 2階 会議室

■くっちゃん地域おこしカフェ

協力隊が町民の皆さんと、また、町民の皆さん同士が地域の中でゆる〜くつながる場をつくりたいと考えています。協力隊がお茶とお菓子を用意してお待ちしています。



○日時 / 3月24日(月) 18時30分頃より(報告会終了後)

○場所 / 役場 2階 会議室

○申込 / 右の二次元コードから(当日参加も可)

受付は、3月19日(水)まで



●カフェの流れ

アイスブレイク → グループに分かれる → サイコロを振り、
話のテーマを決める → みんなで楽しく話をしましょう

トークテーマ例

冬によくやること
倶知安の好きなレストラン
最近している運動 など

報告会の資料は、報告会終了後に町HPおよび、協力隊Instagramに掲載します。

Instagramでは、隊員の日頃の活動や協力隊が参加するイベントの情報などを紹介しています。

Instagram ID :
「kutchan_kyouroykutai」で検索



今年度、着任した2名の隊員を紹介



R6.6 着任 / 三石 真由 隊員

所属

観光商工課

出身

長野県

配属先

倶知安観光協会

—— 倶知安の協力隊に応募したきっかけは何ですか？

前職のコンサルタントでは、観光地のデータ分析とアドバイスが主な仕事でしたが、アドバイスだけでなく自身で企画し、成果を挙げたいと考えたことがきっかけです。倶知安は、挑戦する環境が整っていたため、応募を決めました。

—— 普段どんな活動をしていますか？

今シーズンから始まった住民優待サービス『Kutchan ID+』を担当しています。もっと加盟店を増やしたいと考えており、事業者の方も「観光のにぎわいを町民の方へ還元したい」と思ってくださっているので、やりがいがあります。

—— 来年度の目標を教えてください

この一年は生活に慣れるのに苦労し、日々の業務で手いっぱいだったため、来年度からは積極的にやりたいことを提案したいです。特に町民の方に還元していけるような、イベントなどを考えていきたいです。

—— 倶知安の協力隊に応募したきっかけは何ですか？

ニセコエリアに興味があり、2週間ほど倶知安で短期バイトをしたことがきっかけでした。近くに美しい羊蹄山があって、じゃがいものおいしさに衝撃を受けました。一度きりの人生を大好きな場所で暮らしたいと考え、応募しました。

—— 普段どんな活動をしていますか？

リゾートマップやWINE & DINEなどのエリアガイドの作成、ニュースレターの配信やマーケティング活動などを行い、ニセコエリア(倶知安・ニセコ・蘭越)が、誰にとっても魅力的な場所となるよう、連携を大切に活動を行っています。

—— 来年度の目標を教えてください

私のように、この町に魅力を感じて移住する方も多いため、町民の皆さんにも、もっと観光の恩恵や魅力を感じてもらえる情報発信をすることが大切だと感じています。協力隊の立場を生かし、町民と観光をつなぐかけ橋になりたいです。



R6.10 着任 / 藤原 かのん 隊員

所属

観光商工課

出身

兵庫県

配属先

ニセコプロモーションボード